片品川水系中ノ岐川

北岐沢・小淵沢

2009年6月27,28日

山本　実

6/27（土）　晴

大清水発6時。すぐ三平峠への道と分かれ、奥鬼怒林道を歩く。1時間ほどで小淵沢出合に着き、泊りの装備をデポする。今日は日帰りで北岐沢を遡行してブナ沢を下降、明日小淵沢を遡行する予定。梅雨の中休みのようで天気は良い。林道をさらに30分ほど歩き、ヘアピンカーブする所より沢へ降りて入渓。

出だしは5～6mの小滝が続く。残置ワイヤがあり利用させてもらう。明るく気持ちの良い沢だ。4段10mはどう見ても4段ない。淵をへつり水流左を直登。水量は多めか。やがて前方に4，50mはあろうかと思われる岩壁が現れ廊下状となる。沢は暗く屈曲し本流は

全水量を一気に落とす15mの大滝となる。手前の右岸から5mそのすぐ上に20mの滝をかけてルンゼ状の支流が合流している。北岐沢のハイライトシーンだが水量多く直登は到底無理で、ちょっと戻って左岸から高巻く。踏跡もあり容易に大滝の落ち口へと出た。滝上は一転して明るく開け、平瀬やナメが続く。岩質は赤茶けてフリクションがよく効き、気分の良い遡行となる。ほどなく1650m付近の二俣へ達して休憩。この辺は幕営すると気持ち良さそう。右俣へ行くと、トポには「瀑流帯」とあるが「ナメ滝帯」といった所。難しい所はなく楽しく歩ける。奥の二俣を右へとり小松湿原をめざす。沢が入り組んでいて分かりづらいが、迷いながらも湿原へと飛び出た。周囲2,300

mほどの小さな湿原だが明るく好ましい。その縁を少しまわって小さな沢形を30分上ると稜線に出た。

樹林帯の中の登山道をしばらく歩き2069mピークを過ぎた鞍部よりブナ沢へと下降を

始める。ただ下り始めが平坦なのでコンパスを回しながら緩く下ると流水溝の沢形へと出た。あとは小滝をまじえながら沢下降となる。この沢もナメが多い。途中10m、7mトイ状をクライムダウンしながら懸垂なしで林道に降りる。林道をブラブラと1時間余りかけて小淵沢出合のデポ地点まで戻る。

近くの中ノ岐川に流木が豊富に転がっている河原を見つけ、ツェルトを張った。

6/28（日）　曇時々晴

小淵沢沿いの林道を20分ほど歩き、堰堤をやりすごしてから入渓、6時40分。始めは樹林のかぶさる薄暗い変化のない沢をゴーロ歩きしたが、2段10mを筆頭に何本か滝が連続して現れる。いずれも快適に直登していくと、眼前にまたしても堰堤が立ちはだかる。右岸より巻くと沢は二俣となり、左俣の本流を林道が橋で横切る。

この辺から沢は明るく開けてナメ滝が多くなり、みな登れるので退屈しない。右に支

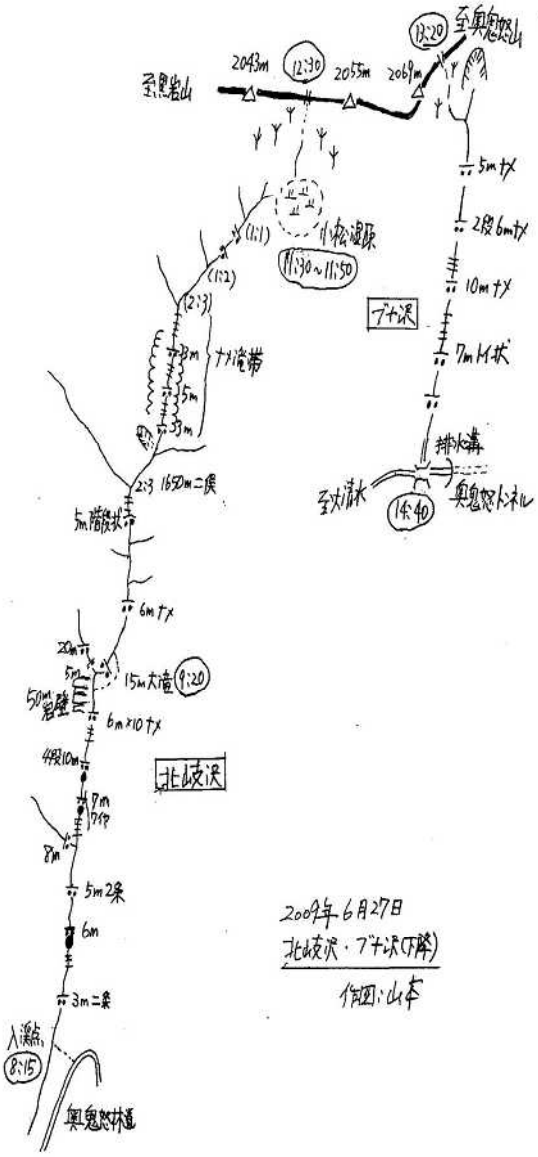
沢を分けると15mほどの大滝となる。これも右壁に大きめのホールドがあり直登して越える。きのうの北岐沢の上流と同様の赤茶色のナメ滝小滝を行くと早くも源流の趣となる。陽にきらめく流れが美しい。10mの斜滝を越すと白糸のように落ちる12m滝が現れる。これはハングしているので左岸を高巻く。この上は小川のようになり東に大きく蛇行しながら源頭となるが、早く登山道へ出るために右岸小沢に入る。若干のヤブこぎの後、踏み跡へ出た。樹間に小淵沢田代らしき雰囲気はあるが下山は逆方向なので割愛する。登山道を行くとしばらくで右に出合に戻る踏跡を確認、1時間余りで小淵沢林道へ戻った。

コースタイム：

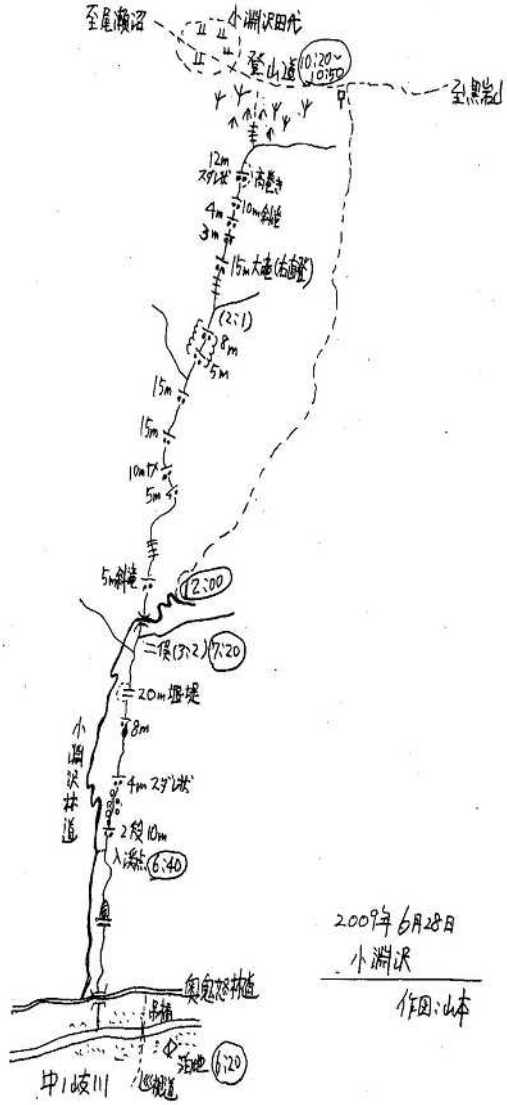
6/27　大清水6：00～小淵沢出合7：00-7：30～北岐沢入渓地点8：15～大滝9：20～小松湿原11：30～11：50～稜線12：30～ブナ沢下降地点13：20～林道14：40～小淵沢出合15：50

6/28　泊地6：20～小淵沢入渓地点6：40～7：20～稜線10：20-10：50～林道12：00～小淵沢出合12：30-12：45～大清水13：30

地形図：三平峠、川俣温泉、燧ケ岳(2万5千)



2009年6月27日
北岐沢・ブナ沢(下降)
作図:山本



2009年6月28日
小淵沢
作図:山本